松江赤十字病院広報誌

くつろぎたいむ

Vol.90
2024 Autumn

第2弾 「チーム医療」の紹介

「チーム医療」とは、患者さん一人ひとりのニーズに合わせ、安心で安全な医療を提供できるよう、医師や看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士など各職種がもっている専門的な知識や技術を活かし、情報共有しながら協力して働くことです。

今回は、前回から始まった当院の「チーム紹介シリーズ」の第２弾。今日も患者さんや病棟スタッフの様々な困りごとに対し、チームメンバーが寄り添って一緒に解決方法を考えます。

今回も２つのチームを紹介！ どんなチームかな？ 早速みてみよう！

こんな活動もやっています

地域とのかけ橋

在宅カフェ「シャベール」月1回 開店！

「シャベール」ってなに?って思われた方、たくさんいらっしゃるのではないでしょうか?
このカフェは、かかりつけの先生や訪問看護、ケアマネジャーのみなさんと、自宅や施設で生活している患者さんの支援について、テレビ会議で話し合う場です。
病院と在宅生活を支えるみなさんとの協力は、とても大切で欠かせないものです。
当院ではこうした場を活用して、患者さんやご家族が安心して療養生活を送っていただけるようお手伝いをしています。

＼ 参加メンバーはこちら ／

★在宅生活を支えるみなさん
かかりつけ医、訪問看護、ケアマネジャー
★松江赤十字病院
医師、薬剤師、看護師、相談員　など

医療社会事業課

松江赤十字病院公式SNSのご案内

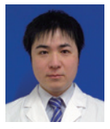
＼ 健康医学講座を公開しています ／

病院での日々のできごとや、
働いている職員の声などをのせています！
ぜひチェックしてみてください♪

Instagram　Facebook　YouTube

Hello Doctors

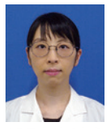
新規採用医師紹介



泌尿器科

サカモト　ノリオ
坂本 憲生

令和6年10月より勤務させていただいております坂本憲生と申します。地域に貢献できるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



第二小児科

カワノ　サキコ
川野 早紀子

10月よりこちらで勤務させて頂くこととなりました。松江は初めてとなりますが、少しでも地域の皆様に貢献できるよう努めたいと思います。

第二小児科

ナカムラ　ミク
中村 実来

子ども達やそのご家族の皆様のお力になれるよう尽力いたします。よろしくお願いいたします。

■病院理念……**わたしたちは、『人道』の赤十字精神に基づき地域の医療に貢献します。**
■基本方針……
❶地域の基幹病院として、説明と同意に基づく「高度」「良質」な医療を提供します。
❷急性期病院として保健・医療・福祉・介護機関との連携を進め、最善の医療を行います。
❸救急病院として24時間地域の健康を守ります。
❹赤十字病院として災害救護に貢献します。
❺教育病院として次世代の医療人を育てます。

松江赤十字病院『患者さまの権利』

1．ひとりの人間として人格と価値観を尊重される権利があります。
2．医療提供者との相互協力のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3．検査・治療法などの自分が受ける医療の内容について、わかりやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。
4．説明を十分理解し同意した上で、医療行為を受けるかどうか自分の意志で選択する権利があります。
5．医療行為の選択にあたって、他の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
6．診療の過程で得られた個人情報は、個人の秘密として厳正に保護され、承諾なしには開示されない権利があります。
7．自分が受けている医療内容を知るために、診療録の開示を求める権利があります。

私たちが、上に掲げた患者さまの権利を尊重した医療を提供するために、患者さまには次のことをお願いいたします。
①自分の健康に関する正しい情報の提供　②医療への積極的な参加　③病院の規則を守ること　④研修医、医学生、看護学生などの研修・実習・見学への理解と協力

松江赤十字病院　広報委員会　〒690-8506　松江市母衣町200番地　TEL（0852）24-2111　FAX（0852）31-9783
松江赤十字病院ホームページ（URL）https://www.matsue.jrc.or.jp/
松江赤十字病院公式ブログ「松江日赤ブログ」（URL）http://blogmrch.blog112.fc2.com/

Q 何をするチームなの？

A 主に人工呼吸器の離脱に向けた呼吸ケアを中心に、呼吸について問題を抱えている患者さんの支援を行うチームです。
医師・看護師・理学療法士・臨床工学技士で構成されており、各分野から専門的な意見を出し合い、より良い医療の提供を目指しています。

Q どんな活動をしているの？

A 痰が出しにくい方、酸素療法が必要な方、人工呼吸器の補助が必要な方など呼吸にまつわる状態は様々ですが、その一人一人に合った呼吸補助の方法を提案させていただいています。週一回病棟へラウンドし、スタッフや患者さんから困っていることを聞き、薬剤の調節や、人工呼吸器の設定変更、呼吸を補助する体位の提案、安全性の確保など、患者さんが安心して過ごせるよう日々努めています。

呼吸ケアチーム（RST）

「人工呼吸」ってどんなイメージがありますか？口にチューブが入った状態で意識がなく寝たきり…。一昔前までは、これが普通でしたが今は違います！人工呼吸中からご家族や医療者との意思疎通を図り（チューブの痛みや不快感は鎮痛薬で限りなく抑えます）、早期からリハビリを行うことがより良い回復に繋がることが知られています。

例えば…

「人工呼吸器のマスクをつけていると、顔に当たっているところが痛くなります。」

患者さん

「痛いのは、マスクのフィッティングが合っていないからかもしれません。フィッティングを確認しますね。また、マスクの種類を変更すると改善することもあるので、試してみましょう。」

メンバー

「人工呼吸」のイメージ、少し変わりましたか？安心・安全な管理が行えるよう、私たちもサポートさせていただきます！ご不安なことがあればいつでもご相談ください！

Q 何をするチームなの？

A 認知症の方が入院されることにより、不安や心配が強くなり混乱されることがあります。患者さんが安心して療養できるよう環境調整やコミュニケーション方法について病棟スタッフと共に支援するチームです。

Q どんな活動をしているの？

A 患者さんやご家族などから情報を得て、入院前の生活状況も確認しながら、患者さんの大切にされている日課などを病棟看護師と共有してケアに繋げています。
病棟看護師からの困り事の相談を受け、より良い治療やケアの提供を目指して取組んでいます。

毎週木曜日に院内ラウンドをし、病棟スタッフと共により良い支援を検討しています。

認知症ケアチーム

メンバーは医師（精神神経科・脳神経内科）・認知症看護認定看護師・精神看護専門看護師・薬剤師・作業療法士・歯科衛生士・社会福祉士など多職種で検討し支援方法を提案します。

例えば…

「帰りたいな」

患者さん

「困ったな治療がまだあるのに」
「どう対応したらいいのかな」

病棟スタッフ

「患者さんの帰りたい気持に共感してあげてください。患者さんは、入院していることや治療が必要なことを忘れてしまいます。その都度お伝えすることで理解できたり、その対応の姿勢で信頼してくださることもあります。」

メンバー

入院した患者さんの安心できる環境のために…

メガネや補聴器、時計、カレンダーなどを準備してください。
日頃使用しておられる枕や毛布、家族の写真などあると良いです。
食事がすすまない時には、使い慣れた箸やスプーン、茶碗などを使用することで食事に向かえることもあります。
普段から使用されている物が、患者さんの安心に繋がります。